

米代川水系河川整備計画（大臣管理区間）  
の策定に係るご意見について

平成17年 1月 7日

国土交通省東北地方整備局

# 米代川水系河川整備計画づくり【大臣管理区間】

米代川水系河川整備基本方針決定 (H14.4月)

## 河川整備計画の策定

### 学識経験者

#### 米代川流域委員会

- 第1回 H14. 9.18
- 第2回 H14.12.11
- 第3回 H15. 3.11
- 第4回 H15. 7. 8
- 第5回 H15.11.26
- 第6回 H16.11.10

素案発表  
(H16.11.10)

原案

策定

### 関係住民(米代川流域)

**閲覧コーナーの開設**  
2市5町、能代河川国道  
(H16.11.10～12.10)  
31日間 6通

**意見ハガキでの意見募集**  
(H16.11.10～12.15)  
36日間 11通

**公聴会の開催**  
H16.11.12 能代地区  
H16.11.12 二ッ井地区  
H16.11.15 鷹巣地区  
H16.11.16 森吉地区  
H16.11.17 大館地区  
参加者 166名  
意見発表者 27名

**インターネットでの意見募集**  
(H16.11.10～12.10)  
31日間 2通

秋田県知事

関係市町村長

## 1 . 意見集約結果

平成14年4月4日に国土交通大臣により米代川水系河川整備基本方針が策定され、これを受けて、東北地方整備局は米代川水系河川整備計画（大臣管理区間）を策定することとしています。

策定にあたっては、学識経験者の意見を聞くために、平成14年9月18日に米代川流域委員会を設置し、これまで6回の委員会を開催しました。

一方、流域住民の意見を反映するために、平成16年11月10日に米代川水系河川整備計画(大臣管理区間)素案を発表し、沿川市町村の窓口に関覧コーナーを設置し意見の募集やハガキ・インターネットによる意見募集を行いました。さらに、沿川市町村の5地区で公聴会を開催する等、様々な手法を用いて流域住民の皆さんから意見を伺いました。(表 - 1)

表 - 1 意見聴取結果

	手 段	実 施 日	聴取結果
流 域 委 員 会	流域委員会開催	H14.9.18	6回開催 委員24名 延べ101名出席
		H14.12.11	
		H15.3.11	
		H15.7.8	
		H15.11.26	
		H16.11.10	
住 民 意 見	ハガキ	H16.11.10 ~ 12.15	11通
	インターネット	H16.11.10 ~ 12.10	2通
	閲覧コーナー開設	H16.11.10 ~ 12.10	6通 8ヶ所 (2市5町・能代河川国道事務所)
	公聴会	H16.11.12 ~ 11.17	5地区 参加者166名

## 2 . 意見

### 2 - 1 整備計画に関する意見

#### 2 - 1 - 1 計画の基本的考え方に関する意見

- A1.1.1 整備計画の期間30年は長いのでは？5年、10年単位の計画とすべき。
- A1.1.2 米代川水系にある各支流の河川整備も実施して頂きたい。

#### 2 - 1 - 2 整備の目標に関する意見

- A2.1.1 整備の目標に関して「家屋等への浸水被害を防止する」との表現については、「等」があれば農産物も含まれると誤解されるため、「等」の削除が望ましい。
- A2.1.2 基本方針では二ツ井地点8,200m<sup>3</sup>/sが河道整備目標としており、整備計画では7,100 m<sup>3</sup>/sが河道目標流量となっているが、整備計画では基本方針との関係が明記されていないため、明記が必要である。
- A2.1.3 洪水を予防する安全な河川を作ってほしい。

#### 2 - 1 - 3 整備の実施に関する意見

- A3.1.1 藤琴川の本川合流部左岸は無堤部であり、田圃が冠水するため築堤してほしい。
- A3.1.2 防災ステーションは川の駅として地域のみんが利用できるような計画とすべきである。
- A3.1.3 米代川距離標44.8k付近は、河床材料で築堤された経緯があることから、漏水の原因となるのではないか。
- A3.1.4 本川の水位上昇に伴い支川（山田川）があふれる箇所がある。（真中地内）どのような整備となるのか。
- A3.1.5 真中地区の氾濫箇所は、田圃の氾濫ではあるが地域の経済活動上、重要であると思うので整備を急いでほしい。
- A3.1.6 河川空間の利用・河川敷の利用として、防災用ヘリコプターの離着陸場や自然観察施設などに活用してはどうか。
- A3.1.7 森吉ダムが普段水を流さないために小又川が環境悪化しているので、森吉山ダムに期待している。
- A3.1.8 多自然型川づくりにおいて、現況の自然環境について、魚類や河岸植生等の多様な河川環境を呈している旨表記すべきである。
- A3.1.9 人が川に近づきやすい場所の整備をしてほしい。
- A3.1.10 魚の産卵場所を確保するため、キャタピラでの河床のかきおこし等川へ人が手を加えることが必要になってきている。
- A3.1.11 多自然型の川づくりを実施する際は、出来るだけいろいろな人の意見を聞いて実施してほしい。

- A3.1.12 子供たちに自然を残してほしい。
- A3.2.1 昔のように川で泳いだり、水辺で遊べるイベントが欲しい。
- A3.2.2 7～8年前にハザードマップを作成したが、作成から年月が経過しており各家々ではどこにあるのか分からなくなっている場合もあるので、その後のフォローアップが必要である。
- A3.2.3 不法投棄発見時の連絡先等を本文に明記してほしい。
- A3.2.4 流域の住民、自治会、職場、学校等を取り込み、米代川を汚さない、大切にその心を主眼としたプロジェクトの立ち上げができないか。
- A3.2.5 増水時の後に必ずゴミの山が残るが、8～9割が萱等であり、これを集積して運ぶのは大変であり、消防署の許可を得て焼却処分してはどうか。
- A3.2.6 地区毎に川を見守る人を任命するのもよい。
- A3.2.7 きれいな水質の維持を目標に、河川内のゴミ処理や水質検査の継続を望む。
- A3.2.8 川については災害や事故のニュースが多く怖いイメージが強いため、川の安全性や交流の場としての役割をもっとアピールすべき。
- A3.2.9 子供たちが自然を享受でき、自然から様々な事を学ぶ環境教育が重要であり、そのフィールドとして米代川が重要な役割を果たすので、環境教育のバックアップをして欲しい。
- A3.2.10 下水道の整備・利用が少ないのではないかと。もっと利用してもらうよう沿江市町村に働きかけるべき。
- A3.2.11 水質に関しては、ハード的対策により効果が現れているが、最近、水質事故が非常に増えており地域住民や企業の方々の意識の問題が非常に大きいことから、水質事故の防止を図るソフト対策が重要と思われる。
- A3.2.12 ダム放流について、田圃作業等への適切な情報提供が出来ないか。
- A3.2.13 洪水の時は出来るだけ貯め込むダム操作を望む。
- A3.2.14 台風21号では、雨がやんでから急に水位が上昇した感じだった。河川の情報や河川の近くで耕作している人に連絡できないものか。
- A3.2.15 洪水時の予報や警報の伝達システムの整備を望む。
- A3.3.1 今後の河川事業実施にあたっては、様々な分野からなる河川アドバイザーから意見を伺い、事業等に反映させるためのアドバイザー制度を設置が必要である。
- A3.3.2 事業実施に関しては、地域住民と協議して実施するプロセスが必要と思われ、過大の設備投資の防止等に対して利点があるのではないかと。
- A3.3.3 地域連携は重要であるから、国と地域の連携方策を具体的に載せた方がよい。
- A3.3.4 災害時の役割分担として、公助、共助、自助の分担があるが、市町村としての役割の中で特に地域住民との関係の在り方については、国がもう少し関与して市町村と住民との関係構築のための支援を実施すべきである。
- A3.3.5 これからの川づくりには「公」「私」「共」「協」による川づくりが必要と思われる。
- A3.3.6 これからの川づくりにあたっては、管理者だけでなく様々な人々との連携により実施して欲しい。
- A3.3.7 実行型の計画としてほしい。

- A3.3.8 治水・利水・環境を同時に進めるのは無理を強いられる可能性があるため、優先順位を決め着実に進めてもらいたい。
- A3.3.9 計画段階で情報開示を進め、地域住民の意見を反映してほしい。

## 2 - 2 整備計画に関する疑問・質問

- D1.1.1 ダムが出来ると水量等環境に変化が生じるのではないか。
- D1.1.2 水質を保持する上で、国と自治体との関わりはどうなっているのか。
- D1.1.3 本整備計画の総予算はどの位か。
- D1.1.4 無線等に頼ることなく、テレ化された観測所を1回/年は見てほしい。
- D1.1.5 樹木管理（伐採後）の有効利用として、チップ化したらよいのでは。後日出張所へ相談に行きたい。
- D1.1.6 扇田橋～真中新橋の区間は川の中に樹木が繁茂している。樹木の伐採はいつから実施しているのか。
- D1.1.7 堤内地に畑等の耕作地が見られるが、民有地がまだ残っているのか。
- D1.1.8 桜などの木を堤防に植えてはダメと聞いているが、桜つつみとはどういうことか

## 2 - 3 その他

- E1.1.1 米代川の年度予算は道路に比べて非常に少ないがなぜ少ないのか。
- E1.1.2 S47.7月洪水により被害を受けてから堤防が完成するまで30年を要した。もっと早くできないものか。
- E1.1.3 藤琴川はダムが出来てから川の中に木が繁茂している。県への指導等願います。
- E1.1.4 藤琴川でS47.7月洪水直前に出来た堤防は石等で出来ている。調査してきちんとした堤防としてほしい。
- E1.1.5 地区で河川敷占用をしているが、占用料の基準を教えてほしい。占用料が高いのでどうにかならないか。
- E1.1.6 岩瀬川合流点～下流の右岸寄りに3日に1回の頻度で泡が流れている。原因は何か
- E1.1.7 台風21号では旧小猿部川が1m位急に水位上昇した感じを受けた。ダムの放流が原因ではないか。
- E1.1.8 台風21号で岩瀬川合流点付近の田圃が浸水し水路が崩壊した。民有地の水路ではあるが、国道7号の排水も入っていることから補修にあたって何らかの手だてがないものか。
- E1.1.9 堤防除草は全て刈り取るのではなく、美しい草花は残すようにできないか。
- E1.1.10 大館地区に河川公園の計画はあるのか。
- E1.1.11 県管理区間ではあるが、大滝温泉付近は無堤部であり台風21号の時も避難実績がある。一般的にどのような対処方法があるものか。
- E1.1.12 河川敷内の清掃等はボランティア等に頼むのではなく、管理者自ら実施する努力が必要。

- E1.1.13 「動植物環境」という表現は「動植物の生息・生育環境」という方が良い。
- E1.1.14 「水防活動の充実」は「水防活動への支援強化」が適切。
- E1.1.15 「河道掘削」という表現は、米代川での掘削形状を考慮すると適当でないのではないかな。
- E1.1.16 基本方針では二ツ井地点8,200m<sup>3</sup>/sが河道整備目標としており、整備計画では7,100 m<sup>3</sup>/sが河道目標流量となっているが、整備計画では基本方針との関係が明記されていないため、明記が必要である。
- E1.1.17 自然環境の概要で、魚類について記載されているが、表現方法について修正した方がよい箇所が見受けられる。

# 公聴会開催状況



H16.11.12 能代地区



H16.11.15 鷹巣地区



H16.11.17 大館・比内・田代地区



二ツ井町



鷹巣町



森吉町



比内町



大館市



田代町